

令和7年度 東京学芸大学附属大泉小学校 公開研究会

来る世界の中で問題に立ち尽くし、 そこから一步踏み出す子どもの育成

— 概念的理解を生み出す PYP の教育課程 —



令和8年1月24日(土)

練馬区教育委員会 後援
東京都教育委員会 後援予定

令和7年度 研究発表会 東京学芸大学附属大泉小学校

国際バカロレア（IB）とは

国際バカロレア（IB）の Primary Years Programme（PYP）は、3～12 歳の子どもたちを対象にした国際的な初等教育プログラムです。本校は 2022 年 8 月に認定を受けました。知識の習得だけでなく、「なぜ学ぶのか」「学んだことをどう生かすのか」を重視し、探究的な学びを通して自ら考え、行動する力を育てます。教科の枠をこえるテーマを軸に、現実社会とつながる学習を行うことで、子どもたちは多様な視点を理解し、他者や世界に対して責任ある態度を身につけていきます。研究発表会では全学年で探究の学びを公開します。

授業講師・パネラーの皆様



秋吉 梨恵子 先生（5・6 年）

PYP ワークショップリーダー

「概念型のカリキュラムと指導」公認トレーナー



原田 卓 先生（1・2 年）

静岡サレジオ小学校

教諭・PYP コーディネーター



櫻井 眞治 先生（3・4 年）

東京学芸大学教授

【IB 用語について】

- ① TDT…Transdisciplinary theme の略称。国際バカロレアにおける教科の枠をこえた探究のテーマのこと。
- ② C I…Central Idea の略省。TDT を反映した探究する概念を組み合わせてできている学習の中心となる文言。

詳しくは研究推進部HPをご覧ください



8:45	9:20~ 10:05	10:05	10:20~12:25	12:25	13:30~15:35	15:35	15:50~ 16:50	16:50~ 17:00
受付	全体会	移動	授業Ⅰ 協議会Ⅰ	昼食	授業Ⅱ 協議会Ⅱ	移動	パネル ディスカッション	謝辞

1年

田代勝 今村行 鬼塚晶子

T D T Sharing the planet

C I 生き物とかかわる人には果たすべき責任がある

私たちは地球の中で、多くの生き物と共に生きています。生き物とかかわる上で大切なことってなんだろう？という問いをもって、探究を進めます。学校にいるチャボや虫など様々な生き物と実際にかかわる中で、人と生き物には等しく命があり、権利があり、かかわるのであれば果たすべき責任がある、ということを実感できる学びを目指します。きれいごとではなく、命と向き合う子どもたちの姿を通して、共に協議できれば幸いです。

3年

庄司真樹 岩岡敬祐 高島舞 岩田愛央

T D T Where we are in place and time

C I わたしたちのくらしは、豊かさを求めて発展していく

地域の様子やアニメ、音楽など、わたしたちのくらしには、人々のおもいや取り巻く環境によって大切にされてきているものがあります。その背景には、人の好みや流行、精神的・物質的な豊かさなど変わるものとあえて変わらないものがあります。時代と共にどのような発展があったか探究していく児童の姿を、ぜひご覧ください。

5年

田畑茜 後藤道洋 河口雅史 吉田悠太

T D T Who we are

C I 人は集団の中で善きあり方を見出し、わたらしさを拡充している

集団に属することは、単なる所属ではありません。そこで他者と関わり、善きあり方を見出す中で、人は初めて帰属を実感します。児童はその過程でわたらしさを深め広げていながら、仲間と共に生きる意味を学んでいます。その挑戦の中から生まれる学びをご覧ください。

2年

早川聡 関根敦 沼田晶弘

T D T Who we are

C I 健康は、自分の選び方と行動でつくり出す

健康という概念について学びます。健康は与えられるものではなく、自分で選び、育てていくものであるという理解を深め、子どもたちにとって身近な表現である「元気」を通して、自分で考え、行動し、正しい情報や方法を選択していく姿を目指します。健康を自分なりに選び取っていく過程を子どもたちの姿からご覧ください。

4年

吉原茂 小川裕也 山本拓郎 山下美香

T D T How the world works

C I 人類は自然界の特性を理解することで自然の恵みを活用している

「水」をテーマにした探究学習です。わたしたちを含めた人類がどのように「水の仕組み」を生かしてきたのか。また、今後も人類が「水」を活用していくためには、自然の仕組みをいかしてどのようにしていけばよいのかを探究していきます。理科「水のすがたと変化」や社会「わたしたちのくらしと水」「下水の処理と再利用」などの4年生での教科学習と関連させながら、児童が学びを深めていく様子をご覧ください。

6年

福永泰也 石毛隆史 上田真也 藤原泰裕

T D T How we express ourselves

C I 共創は人の心を動かす

2月末に全校の下級生に向けて、6年生は「オペレッタ」を上演します。オリジナルの脚本、オリジナルの歌とダンス、オリジナルの演出で、メッセージを伝えます。当日は、キャスト、オーケストラ、スタッフ（大道具、照明、音響）のグループに分かれて、練習や製作を行ったり、「共創」について話し合ったりします。創造的な活動を仲間と共に行うことに、どのような意味や効果があるのか探究する姿をご覧ください。



研究主題について

研究推進部部长 今村 行

本校では、「来る世界の中で問題を前に立ち尽くし、そこから一歩を踏み出す子どもの育成」を研究主題としています。変化の激しい時代において、安易な答えに飛びつかず、立ち尽くしながらも自分の言葉で考え、行動する子どもを育てることを目指しています。探究する子どもの表情が思い浮かぶ主題を掲げ、全職員で研究を進めています。国際バカロレア PYP の理念に基づき、子どもが多様な視点から課題を探究し、概念的理解を深める教育を通して、世界の平和に貢献する人を育てていく研究を、参観者の皆様と共に一層深めることができれば幸いです。

お申し込みについて

- 教育関係者を対象としています。
- 申込フォームより Peatix に必要事項をご入力の上、お申し込みください。
- 参加登録申込期間：11月3日（月）～1月23日（金）
- 参加費：一般 2,000 円（資料代込み・Peatix でのお支払い）
※参加費の詳細は Peatix でお確かめください。
- 当日申込も可能です。
- 当日申込の場合はお支払いは会場受付で Peatix に登録していただき、インターネットでの決済となります。
（現金支払いはできませんのであらかじめご了承ください。事前申込へのご協力よろしくお願いいたします。）
- Peatix QR コードを読み取って受付をします。QR コードを提示できるようにご準備ください。
- 学校周辺には食事ができる飲食店も多くありますが、弁当の販売もいたします。
弁当の注文は研究発表会申し込みと同様に申し込み、Peatix でお支払いください。（1,200 円・お茶付き）
- 弁当申し込み期限 1月16日（金）

※前日の1月23日（金）には、東京学芸大学附属国際中等教育学校（国際バカロレア MYP、DP 認定校）の研究発表会がございます。ぜひ合わせてご参加ください。

申し込みはこちら



東京学芸大学附属大泉小学校